

【7月・1歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (2歳3カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (2歳2カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (2歳1カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (2歳0カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 次の活動に移るときやお迎えの際に、帰りがらなかったり、玩具の片づけを嫌がり泣くことがあった。 2. 泥遊びでは全身で感触を楽しみ、年上の友だちの遊びに興味を持ち、本児なりに混ざって遊ぶ姿が見られた。 3. 遊びや生活の様々な場面で、「見ててね」と保育者に伝え、注目してもらうことを喜ぶ様子が見られた。	1. 日中は喜んで布パンツで過ごすようになり、尿意に気づかず濡らしてしまうこともあるが、清潔になったあとは自分で新しい布パンツを選び、「これにする」と保育者に伝えていた。 2. 泥遊びで汚れることに慣れ、保育者と一緒に地面に触れて泥や水の感触を味わったり、スコップですくって遊ぶ姿が見られた。 3. 発熱で休む日が多かったが、治ってからは機嫌よく登園し、活発に過ごしていた。		
ねらい	1. 思いを受け止めてもらい、気持ちを切り替えようとする 2. 水の感触を十分に楽しむ	1. 尿意を言葉やしぐさで伝えながら、自信を持って布パンツで過ごす 2. 水に親しみ、十分に感触を楽しむ		
内容	1. まだ遊びたいという気持ちを保育者に受け止めてもらうことで、気持ちが落ち着き、次の活動に期待を持って片付けや必要な行動に移る。 2. 水が張られたタイに入り、全身で水の感触を楽しみながら、開放感を味わう。	1. 尿意を感じた際に自分なりの言葉やしぐさで表現し、保育者に受け止めてもらいながら安心してトイレに行き、排尿する。 2. 自分のペースで水に触れて楽しみ、感触の面白さや気持ちよさを十分に感じる。		
環境構成 配慮 援助	1. 遊びを切り上げて次の行動に移る際は、本児が気持ちを切り替えやすいタイミングを見計らって声をかける。嫌がる時は、「まだ遊びたいんだね」と伝えながら受け止め、「これからお家に帰って、ご飯を食べるのかな」「一緒に片づけたあとは〇〇をするよ」など、このあとの見通しをわかりやすく伝えることで、安心して気持ちを切り替えられるようにする。 2. 水を張ったタイから出入りする際は、転倒を防ぐために本児の体やタイを支え、安全に配慮する。一緒に水面を叩いたり水をかけ合ったり遊んで、「お水が跳ねたね」「冷たくて気持ちいいね」と声をかけたり、本児なりの表現やつぶやきを受け止め、水遊びの楽しさや感触の心地よさを共有する。	1. 尿意を言葉やしぐさで伝えられたときは丁寧に受け止め、「ちっちが出そうなんだね」「トイレに行ってみようね」と優しく伝え、排尿できた際には「トイレでできたね」と喜びに共感しながら、自信につなげる。間に合わなかったときには、安心できるように、「大丈夫だよ」「一緒にお着替えしようね」と肯定的な言葉をかけながら対応する。 2. 本児の様子に合わせて、水がかかりにくく、落ち着いて遊べるコーナーに誘い、安心して水遊びを楽しめるよう配慮する。足元に水をかけたり、タイやバケツ、カップの水と一緒に触れながら、「気持ちいいね」「冷たいね」といったさまざまな表現で感触の面白さを伝え、興味を引き出していく。		
食事	・安定して自分で食べる姿を見守り、「すくえたね」「おいしいね」と穏やかに伝え、食べる喜びを感じられるようにする。 ・苦手な食材を一口でも食べられたときは、「食べられたね」「かっこいいね」と大いにその姿を認め、自信につなげる。	・おかずを先に食べてしまうと白米が進まなくなるため、「次はご飯も食べてみようか？」と楽しく声をかけ、バランス良く食べ進められるよう見守る。 ・鉛筆握りで食べようとする姿を見守りつつ、保育者が正しい持ち方を見せたり、手を添えて食べやすいように支えることで、徐々に慣れていけるよう援助する。		
家庭との連携	3. お迎えの際には、本児と一緒に「こんなことができたね」と具体的なエピソードを伝え、保護者にも成長を感じてもらえるようにするとともに、本児の「見ててね」という気持ちを受け止める大切さを伝えていく。 ・暑さや水遊びの疲れから体調を崩しやすくなるため、様子を丁寧に観察し、普段と違う様子があれば保護者と伝え合う。	3. 病欠明けは、家庭での様子を保護者から丁寧に聞き取り、機嫌や食欲などを注意深く観察しながら、無理なく過ごせるよう配慮する。 ・汗をかいたりお漏らしをするなど、着替える機会が増える時期のため、衣服や布パンツの替えを多めに用意してもらい、清潔を保てるようにする。		
評価・反省	1. タイミングによっては保育者の声が届かず、気持ちの切り替えに時間がかかることがあった。家庭と連携しながら丁寧に思いを受け止め、焦らずに情緒の安定を図る。 2. 顔に水がかかっても平気な様子で、シャワーの水に手を出し、水しぶきがかかることを喜んでいて、水遊びの楽しみがさらに広がるよう、マヨネーズの空容器などの新たな道具や、色水、氷などの素材を用意し、提供していく。	1. 自ら「トイレ行く」「ちっち出るよ」と保育者に伝えてトイレに行くことができ、ほとんど濡らさずに過ごした。午睡の際はオムツを履いているが、排尿していない日が多いため、本児の気持ちを尊重しながら、布パンツで眠ることを提案していく。 2. タイリに入って遊んだり、カップなどの道具を使い、ペットボトルに水を入れようと試行錯誤する姿が見られた。本児なりの遊び方を見守りながら発見に寄り添い、好奇心を育む。		

無料版:2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成/配慮/援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。
敬称と性別表記:ウェブサイトにも当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。